



島根原子力発電所
低レベル放射性廃棄物のモルタル充填に用いる
流量計問題に関する再発防止対策の実施状況について

平成28年5月22日

中国電力株式会社

<はじめに>

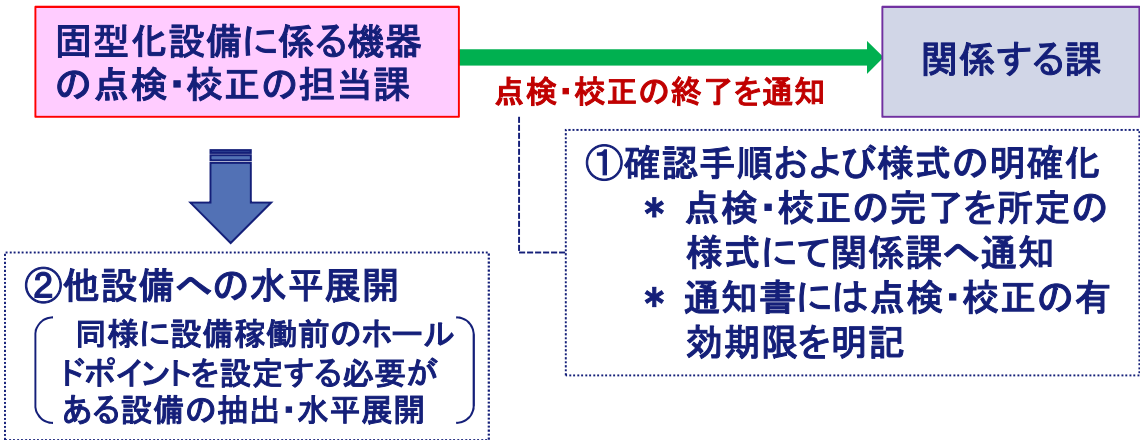
- 昨年6月に当社島根原子力発電所で判明した低レベル放射性廃棄物のモルタル充填に用いる流量計問題については、土用ダム問題に端を発した平成19年の発電設備総点検、さらに平成22年に島根原子力発電所で発生した点検不備を受け、原子力安全文化の醸成など、再発防止対策を進める中で本事案が発生したことを、極めて重く受け止めています。
- 地域の皆さまをはじめ、多くの関係者の皆さまからの信頼を大きく損ねたことを深く反省するとともに、改めてお詫び申し上げます。
- 現在、同様の事案を発生させることのないよう、国の保安検査での確認もいただきながら、業務管理の仕組みや業務運営の改善、さらなる原子力安全文化醸成活動の推進などの再発防止対策に鋭意取り組んでいるところでございます。
- 当社といたしましては、引き続き、策定した再発防止対策を確実に実施するとともに、定着化を図り、地域の皆さまからの信頼回復に努めてまいります。

固定化設備稼働前の確認プロセスの改善

【問題点】
 固定化設備は、稼働前に必要な機器の点検・校正が終了していることを確認する業務手順ではなかった。

【対策の概要】

充填固化体の製作前(固定化設備の稼働前)に、必要な機器の点検・校正が終了していることを確認するよう手順を明確化
 [ホールドポイントの設定]



【実施状況】 (H28.3末現在)

[□ 計画] [■ 実績]

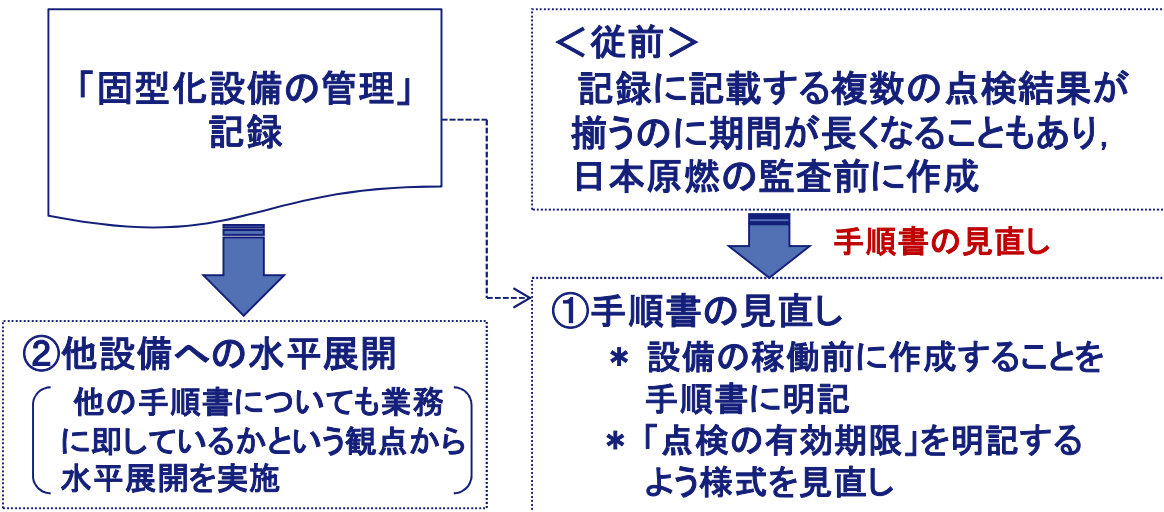
実施項目	スケジュール	平成27年度						平成28年度		
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	上期	下期
①固定化設備稼働前の確認手順の確立等		■	10/9実施済							
②他設備への水平展開		■	■	■	■	■	1/29実施済			

業務管理のしくみの改善(3)

業務に即した手順への見直し

【問題点】
 「固型化設備の管理」記録は、点検の都度作成されず、結果として**日本原燃の監査にあわせて作成された。**

【対策の概要】
 「固型化設備の管理」記録は、設備稼働前に作成するとともに、点検の有効期限を明記するよう手順を見直し



【実施状況】 (H28.3末現在)

実施項目	スケジュール	平成27年度						平成28年度		
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	上期	下期
①「固型化設備の管理」記録に係る手順書の見直し			■ 10/9実施済							
②他設備への水平展開		■						■ 2/22実施済		

(□ 計画 ■ 実績)

業務運営の改善 ～管理者によるマネジメントの改善等～

【問題点】

管理者が業務管理を適切に行っていなかった

- ・作業の進捗を管理, 把握していなかった
- ・監査資料の確認ができていなかった

【対策の概要】

マネジメントの改善

- ①管理者責務に関する教育・研修
* 進捗管理, 業務監督, コミュニケーション等に関する研修の実施
- ②管理者の責務に係る自己評価(定期的な業務点検)
- ③監査体制の改善
* 社外対応の考え方(ライン管理者の同席等)の作成・周知

内部けん制の強化

- ④内部けん制の強化につながる管理方法の改善
* 国, 自治体等へ提出する重要な報告書等の抽出および提出前のチェック強化

【実施状況】 (H28.3末現在)

[□ 計画] [■ 実績]

実施項目	スケジュール	平成27年度						平成28年度	
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	上期
①管理者責務に関する教育・研修		■ 研修実施(11/11完了)						□ 継続実施	
②管理者の責務に係る自己評価		■ 自己評価実施(11/27完了)						□ 継続実施	
③監査体制の改善		■ 10/9実施済							
④内部けん制強化につながる管理方法の改善		■ チェックのしくみ・管理方法の改善, 教育の実施(12/18完了)							

意識面の改善

【問題点】

- ・コンプライアンスの意識が一人ひとりにまで十分浸透・徹底していなかった
- ・「報告する文化」「常に問いかける姿勢」の意識が一人ひとりにまで十分に浸透・徹底していなかった

【対策の概要】

これまでの取り組み

- ・安全文化醸成に係る行動基準策定
- ・定例訪問への同行, 見学会の対応・同席
- ・原子力安全文化の日
- ・役員と発電所員との意見交換, 講演会 等

➡ 充実強化

流量計問題を踏まえた取り組み
(コンプライアンス意識, 安全文化醸成の認識向上)

- ・本事案の事例研修の実施(①)
- ・「地域に対し一人ひとりが約束を果たし続ける意識」の更なる向上(②, ③)
- ・適切な発注業務管理の推進(④, ⑤)

【実施状況】 (H28.3末現在) (□ 計画 ■ 実績)

実施項目	スケジュール		平成27年度					平成28年度	
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	上期	下期
① 本事案の事例研修			■ 各職場で実施(11/6完了)					□ 継続実施	
② コンプライアンスに係る行動基準の策定・実践			■ 各職場で策定(11/6完了) 実践に移行					□ 継続実施	
③ お客さま視点の価値観を認識する機会の拡大 (定例訪問同行や見学会等の対応・同席の参加機会拡大)			■ 具体策策定(10/28完了)		■ 実施中			□ 継続実施	
④ 適切な発注業務に係る教育の実施			■ 各職場で実施(11/6完了)					□ 継続実施	
⑤ 請負者に対する適切な受注業務への要請			■ 10/2実施済						

管理者向け研修や本事案の事例研修等の実施状況

コンプライアンス専門家による管理者の責務に関する研修

原子力部門のライン管理者を対象に、コンプライアンス専門家による研修を実施

〔発電所 10/30, 11/4, 11/11 本社 11/6〕



講師から「職場から不祥事を出さない管理者の責務と実務のポイント」について講演



業務管理や部下とのコミュニケーションについて、グループで話し合い、発表

本事案の事例研修等

各職場において、

- ✓ 本事案の事例研修を実施
- ✓ 適切な業務発注に関する教育を実施
- ✓ 各職場のコンプライアンス行動基準を策定

〔各職場で実施(11/6完了)〕

＜コンプライアンス行動基準の例＞

- ・1人で抱えずチームで最善策を追求し、信頼される業務運営を行います
- ・お客さまの目線で熟慮断行
- ・困ったときはまず相談！ 適切な手順で対応します



本事案の事例研修では、以下のような視点から話し合いを実施
・自らの職場で同様の事案を発生させないためにどう取り組むのか
・地域の皆さまからの信頼回復に向けてどう取り組むか

メモ
